

榮議員 牟岐町の「木」「花」「鳥」、今、3本立てでやっていますが、これに一つ「魚」を追加選定してはどうかというようなことを町長にお尋ねいたします。現在、指定されている木は、「ニッポンタチバナ」です。それから、花につきましては、「はまゆう」、鳥につきましては「メジロ」というようなことで書かれているわけですが、特に牟岐町の場合は、漁業の町でありますので、魚を一つ入れたらどうかというふうな私の意見です。この魚につきまして、ブランド化を図り牟岐の魚だというふうなことで、出荷等も販売も促進して水産業、漁業の振興にかかると同時に地方創生の役割を果たすということで、とにかく木は「ニッポンタチバナ」、花は「はまゆう」、鳥は「メジロ」これに加えて、牟岐の魚に相応しいものを入れたらどうかと、こういう提案です。よろしくお願いします。

枅富議長 福井町長。

福井町長 榮議員のご質問にお答えします。現在、牟岐町が指定している町の木、花、鳥に加え、ブランド化により水産業の振興を図るため、牟岐町の魚を指定してはどうかとのことですが、牟岐町の「木」「花」「鳥」の選定は、町制施行70周年にあたる昭和60年に公募により、選定委員会で決定されました。当時は、「明るいまちづくり推進運動」の実施を、具体的かつ効果的に進めるため、町を象徴する「木」「花」「鳥」を選定したところです。今回、「魚」を選定することに対し、漁業関係者から話を伺ったところ、「選定することは漁業振興のために良いのではないか」ということでしたが、「実際の選定作業では、1つの魚に絞ることは、漁業者の採る魚種の違いや、時期的な漁獲の問題等があり、難しい」とのご意見が出ています。既に全国的には、町の「魚」を選定しているところは、「木」「花」「鳥」に比べ非常に少ない状況ですし、県内で「魚」を選定しているところは無いようです。ちなみに、隣の海陽町では「鳥」でなく「生物」として「ほたる」を選定しています。このようなことから今後、牟岐町としては、できるだけ多くの方に、牟岐町の魚貝類を認識していただき、漁業振興に繋がることを期待し、「町の魚」の選定を、前向きに検討してまいりたいと考えています。

枅富議長 榮議員。

榮議員 町の振興、発展にもできたら起用することができると思います。どうぞよろしくお願いします。